

令和7年度(2025年度) 給付型奨学金

※大学経由で申請の場合、申請期限は募集要項に記載されている提出期限より早く設定されていますのでご注意ください。

2025/11/12

No.	募集团体名等	対象学生 ※2025年度時	応募資格等 ※詳細は募集要項を確認してください	募集人員	支給額 ※括弧内は給付期間	申請期限	応募方法	募集要項・願書等の取得 (クリックすると財団等HPへ遷移します)	留意事項
48	交通遺児育英会	学部生 大学院生	・保護者等が交通事故で死亡したり、重い後遺障害を負った家庭の子で、現在大学・大学院に在学している学生(在学応募)、もしくは令和7年4月に進学予定の学生(予約応募) ※後遺障害の規定については募集要項を参照すること ★他の奨学金との併用可	学部300人 大学院20人	貸与(無利子)+給付 学部:月額4万円～6万円 (うち2万円は給付、残り貸与) 大学院:月額5万円～10万円 (うち2万円は給付、残り貸与)	在学応募: 2025/10/31 (奨学支援係への推薦書作成依頼期限10/17) 予約応募: (1次)2025/8/31 (2次)2026/1/31	直接応募	財団等ホームページに掲載	・在学証明(兼推薦書)については大学で作成します。提出書類を全て揃えた状態で奨学支援窓口にお持ちいただき、在学証明(兼推薦書)の発行依頼をしてください。 ※窓口への提出期限 在学応募:2025/10/17 ※大学院予約の場合、在学証明書兼推薦書の提出は不要
105	公益財団法人公益推進協会 (タクト奨学金)	学部生	・税理士・公認会計士資格の取得に専念している25歳以下(大学院生は対象外)の者 ・収入基準は募集要項を確認すること ・税理士志望者は、税理士試験2科目以上合格していること ・公認会計士志望者は、公認会計士試験を1回以上受験したことがあること	全国4名程度	一時金20万円	12/18(木)	直接応募	財団等ホームページに掲載	
32-4	篠原欣子記念財団 [期間限定](第2回)	学部生	(1)社会福祉系国家資格(保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士)または幼稚園教諭免許状の取得が可能な大学の学部等に在籍する修業年限以内の学年の者 (2)応募時点で、上記(1)の資格または免許状を活かして、将来、社会福祉施設または幼児教育施設(それらに類する施設を含む)等での就業を志望している者 (3)募集要項に記載された所得基準を満たしている者 ★他財団の奨学金制度受給者であっても応募可。ただし、当財団の「一般奨学金」と「期間限定奨学金」の両方に応募することはできません。	60名程度	月額1.5万円 (令和7年10月～令和8年3月)	11/14(金)	直接応募 (10/14～受付開始)	財団等ホームページに掲載	
49-2	バロック村井博之財団	学部生 大学院生	【助成対象】 『衣』『食』『住』など生活に密着したサステナブルな社会発展に寄与する活動(研究・開発を含む) ※詳細は募集要項参照 【応募資格等】 ・日本国内に居住する者で、日本国内の大学(含む大学院)に在学する者 ・応募は主体的活動を行うグループの代表者が行い、同グループからの出願は1件までとする	全国5件程度	助成金額:1件上限80万円 ※助成期間:2025年4月1日～2026年3月31までの1年間	奨学支援係への推薦書作成依頼期限 11/4(水) 財団への出願期限 11/14(金)	直接応募	財団等ホームページに掲載	推薦書の記入は指導教員へ依頼してください。
45	荒井芳男記念財団	学部生	・2025年4月1日現在において、大学の1年生～4年生に在籍する者 ・学部、学科は機械系、工学系、化学系、電気系である者(生命化学、生物科学等を除く) ・2025年4月1日現在、23歳以下である者 ・2025年4月1日現在、日本国籍または日本の永住権を有する者 ・最短修業年限にて卒業の見込みがある者 ・学業優秀で経済的支援を必要とする者 ★他の奨学金等との併用可	全国35名程度	年額20万円	12/19(金)	直接応募	財団等ホームページに掲載	

令和7年度(2025年度) 給付型奨学金

※大学経由で申請の場合、申請期限は募集要項に記載されている提出期限より早く設定されていますのでご注意ください。

2025/11/12

No.	募集团体名等	対象学生 ※2025年度時	応募資格等 ※詳細は募集要項を確認してください	募集人員	支給額 ※括弧内は給付期間	申請期限	応募方法	募集要項・願書等の取得 (クリックすると財団等HPへ遷移します)	留意事項
92	一般財団法人TCS奨学会	学部生 大学院修士課程	・日本国内に居住し、日本国籍を有していること ・学部及び大学院修士課程に2025年度に在学しており、2026年4月時点で大学2年生から大学4年生又は大学院1年生、大学院2年生に進学・進級見込みであること ・最短修業年限で卒業見込みであること ・修得単位数が標準単位数以上で、直近の学業成績につきGPA(平均成績)が3.3以上であること ★他の奨学金との併給可 ※家計基準及び他の給付奨学金との併給状況に関する応募制限はないが、審査基準事項の一部となる。	全国30名程度 (学部生、大学院生各15名程度)	月額:5万円(年間60万円) (2025年4月～2026年3月)	11/28(金)	直接応募	財団等ホームページに掲載	
107	岩佐教育文化財団	学部生	経済的に就学が困難な大学生 ※大学院生は除く	20名	年額120万 (※1年毎の再選考により、更新継続する場合あり)	12/19(金)	直接応募 (1/6～応募可能)	財団等ホームページに掲載	
126	鎌田記念財団	右記のとおり	・物流・ロジスティクスを学ぶ大学生及び・大学院生であること ・日本国籍を有する者 ・GPAが2.4以上であること ・新入生の場合、高校の平均評定が3.5以上であること ・物流・ロジスティクスに関する科目を履修できる学部・学科に在籍していること(科目の詳細については募集要項を参照のこと) ★他の奨学金との併給可	27名	年額36万円	11/17(月)	直接応募	財団等ホームページに掲載	
127	一般財団法人 先端教育振興機構	教育学研究科1年生	・日本国籍を有すること ・専門職大学院に進学した新1年生であること ・応募締切日時点で35歳以下であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ★他の奨学金との併給可	10名	年額48万円	11/30(日)	直接応募	財団等ホームページに掲載	
42-2	社会福祉法人さぼうと21 2026年度「坪井一郎・仁子学生支援プログラム」	2026年4月に ・学部3年生以上 ・大学院	日本に定住する外国にルーツをもつ学生で、2026年4月に大学3年生以上、または大学院に在籍していて、以下の a又はbに該当する者 a) 難民とその子など、本人/親が難民またはそれに準ずる背景により来日した方 b) 原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ方 ※既に日本国籍になった方も含む、在留資格が「留学」の方は対象外 ※主に理系の方を優先します ※大学院については、修士課程の方を優先します	全国15名程度	年額 大学院生:60～100万円 大学生:50～100万円 (2026年4月～2027年3月)	11/15(土)	直接応募	財団等ホームページに掲載	